



大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■クラブ創立：2000年1月13日
 ■例会日：水曜日（12：30～13：30）
 ■例会場：中部コミュニティセンター
 TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
 ■事務所：〒299-3251
 大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階
 TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
 ■会長：大越 将司 幹事：星野 実
 ■広報・公共イメージ向上委員会
 委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年 5月 15日(水)
第25巻 第 39号

通巻第1069

http://www.oamirotary.com
E-mai : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

本日の例会

点 鐘 会長 大越 将司
 ソング 手に手つないで
 会長挨拶 会長 大越 将司
 幹事報告 幹事 星野 実
 プログラム 卓話 株式会社 海老澤工業
 代表取締役 海老澤 光雄 様

ニコニコBOX

大越 将司会長
 子ども食堂の食材提供ありがとうございます。まだ募集しておりますので、よろしくお願ひ致します。

例会日	5月8日	4月24日
会員数	31	31
出席	17	17
欠席	14	14
M U	0	2
免除	7	7
出席率	77%	84%

会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。ゴールデンウィーク、いかがお過ごしでしたか。最高気温も20℃を超えて、蒸し暑くなってきました。水分と栄養を十分に摂取してお過ごし下さい。

さて今朝の朝日新聞朝刊に、「『日本版DBS』大手塾の6割参加意向」の見出しが出ておりました。「DBS」とは、「Disclosure and Barring Service」の略で「前歴開示・前歴者就業制限機構」というイギリスの発祥の制度のことだそうです。

今年3月19日に閣議決定されたこの法案の内容ですが、子どもを対象にした性暴力の防止を、教員や保育など子どもの支援に従事する者に義務づけています。その上で、性暴力を防止する手段のひとつとして、事業者には、特定の性犯罪の前科の有無を確認することを義務付け、違反した場合、公表などの対象にするとしています。

具体的な情報開示の手続きですが、

- ① まず事業者が子ども家庭庁に申請します。（学校・保育園は義務。塾などは任意）
- ② 業務に就く予定の人が戸籍情報などの必要書類を提出する。
- ③ 照会した結果、性犯罪歴がなければ、「犯罪事実確認書」がそのまま事業者に交付されます。
- ④ 犯罪歴があった場合は、まず本人に事前通知。2週間以内であれば訂正を請求可能。
結果を受けて本人が内定を辞退すれば、事業者には犯罪歴が通知されることなく、申請が却下される、というものだそうです。詳しい補足は、渡辺会員にお任せます。

今回の制度は、学校や認可保育園は義務化ですが、学習塾などは任意となっています。昨年は大手学習塾・四谷大塚の講師が生徒女児を盗撮したとして執行猶予付きの有罪となっております。それを受けての調査だったようです。ちなみに私の勤務する翡翠会の放課後等デイサービスも任意ですが、登録しました。

令和2年度調査研究で厚生労働省が成人及び児童に行った無作為調査では、男児の10.0%～12.8%、女児の39%～58.8%が子どもの頃、性被害の経験があるとも言われています。

子どもが安心して学ぶことのできる環境を、皆で考えていければと思います。いかがでしょうか。以上で私の会長挨拶といたします。

卓話

メルビン ディ シルワー 様



大網ロータリークラブの会長様及び会員の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

四之宮お父さんからご招待をいただき、大網ロータリークラブからスリランカの子供達へのご支援に対して皆様にお礼に参りました。メルビンと申します。

12年程前から今まで、毎年大網ロータリークラブからスリランカの子供達へ食料をはじめ、様々なご支援をいただいております。

毎回繰り返しになりますが、私の妻が大学院生の頃、米山奨学生として奨学金をいただいた事が、大網ロータリークラブとの出会いとなりました。今回は大網ロータリークラブからいただいた寄付金でスリランカ中央部州にあるスリランカの最高峰の山中にある生徒数120人の小中学校の子供達に、1年間の昼食を支給する事が出来ました。この学校は中央部州、ヌワラエリヤという地域にあるシャーンティプラ学校と言い、小、中、高校生が通学しています。尚、この学校は20年程前から山武市の睦岡小学校と姉妹校の関係になっています。毎年、6年生が使用したランドセルや学用品などの寄付をいただいております。大網ロータリークラブの里親さんがスリランカにいらっしゃった時には毎年この学校を訪問して下さいます。

シャーンティプラ学校に通っている子供達の家庭は大変貧しく保護者は、お茶畑(プランテーション)で茶摘みをして生計をたてています。1日働いても、日給は600円程にしかありません。このような大変苦しい生活の中で子供達は勉強しています。毎日三食食べられない家庭も多くあります。

このような状況にある子供達のご支援を下さる、大網ロータリークラブの皆様には心からお礼申し上げます。

この地域の子供達との最初の出会いは柏東ロータリークラブの中村お父さんが、四之宮お父さんはじめ、大網ロータリークラブの方達をスリランカにお連れした事です。それ以来長い間、大網ロータリークラブから毎年スリランカの子供達にご支援をいただいております。大網ロータリークラブからいただいている寄付金はスリランカの子供達にとって大きな宝になります。また、クラブの里親さんからも毎年コスモス奨学金をいただいております。里子達の現在の状況についてお話しさせていただきます。小学校5年生の奨学金試験に合格してから、今まで長い間奨学金をいただいた子供達は、大学の医学部、看護大学、工学部、商学部、人文社会学部などに合格しております。それも里親さんのおかげです。心から感謝申し上げます。

食料支援とは別に、クラブの里親さんで、関谷お父さんが里子の目が見えない子供の目が見えるようになるまで、その治療を受けるお金や毎日の食料のためにお金を寄付していただきました。今現在も関谷お父さんはスリランカの子供へ支援して下さいます。関谷お父さんには心から感謝申し上げます。

そして、佐藤先生、石田お父さん、板倉お父さんからも大勢の子供達へ毎年奨学金をいただいております。また、高山お父さんが大網ロータリークラブを代表して毎年コスモス奨学金の関係で子供達にご支援しにいらっやってくれます。

スリランカの優秀な子供達の教育支援だけではなく様々なご支援をして下さっている大網ロータリークラブの皆様の温かいお気持ちに心から感謝申し上げます。これからもよろしくお願い申し上げます。クラブの皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。

